



済生会で 医師になる!!

臨床研修システム



シリーズ 済生会の力 第7集

ワタシの、
センタク。

Q.
黒柳さん、東和薬品が目指す
“やすくて、高い”ジェネリックって、
何ですか？

A.
それは、飲み“やすい”工夫と
“高い”品質のジェネリックです。

《東和薬品の取り組み》



東和薬品は、
皆さまにセンタクされる
ジェネリック医薬品を目指します。

私は、ジェネリック。
私は、東和薬品。

みんなの“センタク”を応援する
「ワタシの、センタク。」ウェブサイトへ

ワタシの、センタク 検索



私のおくすり、あるかしら？ ジェネリックかんたん検索

「ワタシの、センタク。」ウェブサイトでは、現在、ご使用になられている
お薬名から、ジェネリック医薬品があるかどうかを調べられます。

くすりのあしたを考える。
東和薬品

済生会で 医師になる!!

臨床研修システム



Contents

はじめに

済生会が目指す臨床研修システム……清谷哲朗 4

初期研修の実際

ここからスタートだ!!……6

いざ、研修へ！失敗を恐れずに果敢に挑戦、です……8

よき指導者、頼もしい同期に囲まれ、充実した2年間の初期研修を……10

地域医療と済生丸……12

マンツーマン指導で技術を身に付け、救急医療で患者を知る……14

初期研修医のための合同セミナー……16

初期臨床研修修了式……17

Message from Expert……小西靖彦 11/佐藤嘉洋 12/中川 晋 17

Message from Participant……宇和海合同健診参加研修医 13

Message from Senior……高尾知穂 7/吉本春香 8/小野口梨紗 11/浅田佳奈 14/藤井佑樹 17

後期研修の実際

ディズニーの教育システムを屋根瓦教育に活かす……18

Teaching is Learning. 教えることが学びになる……20

ハワイ研修でアメリカの医療を学ぶ……22

今日から僕らも国際人の仲間入り……24

Message from Expert……渥美義大 19/風巻 拓 20/町 淳二 24

「医師」をつくる指導医を育てる

臨床研修指導医を養成する……28

第36回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ……30

Message from Expert……金原秀雄 28/船崎俊一 29/近藤昭信 30

木内利明・鈴木都男・寺田浩明 31/塩出純二 32/加藤英治 33/伊野美幸 33

あとがき

済生会の臨床研修の取り組み……高木 誠 34

済生会は日本最大の社会福祉法人……36

地域の医療・保健・福祉を担う

年表



ハワイのモアナルア・カーデンパークで後期研修医。
表紙写真は東京・中央病院の中川晋医師(臨床研修
専門小委員会委員)と研修医、指導医

Welcome to

済生会が目指す臨床研修システム

医療の世界も、グローバルな社会の動きに無関係ではられません。さまざまな機器がネットワーク化され、情報の収集が進むと、これまで以上に、医療の標準化も進められていくことになります。また、同様に新たに開発される医療技術への対応も迫られることになります。その際に、医師としての能力を生涯にわたって、どのように開発していくのかは、医師個人としても、病院としても重大な決定を迫られていくことでしょう。厚生労働省においても2011(平成23)年に「専門医の在り方に関する検討会」が発足し、議論が進められ、紆余曲折を経て、一般社団法人専門医機構が設置されています。現時点では、実行戦略上の議論が一致せず、どのように進んでいくかは不透明になっていますが、その理念そのものは多くの方が肯定しており、方向自体は間違っているものではないと考えます。

この方向を踏まえ、済生会では、質の高い臨床研修を行うため、各病院が行っている各種の臨床研修に加えて、初期、後期をはじめ卒後7年目以上の医長、部長、副院長までも含めたすべての階層に対する短期研修プログラムを用意しています。

初期研修医には、研修で知りあった仲間や講師との親交を深め、これからのキャリアパス形成に役立ててもらうために200人規模の初期臨床研修セミナーを開催しています。また、後期研修医(一部初期研修医を含む)には、「教えることが自らの学びになり成長する」という屋根瓦方式の教育を取り入れ、後輩を指導する知識と技能を高め、ロールプレイ実習などを通して『教え方のコツを学ぶ研修』などのプログラムを実施しています。さらには、国際的な視野を持ってもらえるように海外での研修も毎年開催しています。

卒後7年目以上の医師には厚生労働省が認定している指導医講習会(臨床研修指導医のためのワークショップ)を、済生会が実施主体として開催しています。また、指導医講習会修了者を対象に、臨床現場で医師が抱えるさまざまな課題をグループワークで意見交換する「臨床研修指導医のためのワークショップアドバンスコース」も実施しています。この他にも済生会の各病院ではOJTとOFF-JTを組み合わせた人材教育に取り組んでいます。指導医の海外研修についてもチャンスがあります。

済生会が提供する研修により、医学的知識を高め、教育を行いながら自らも学習する能力を身に付け、コミュニケーションスキルを磨いてリーダーシップを発揮し、医師としてのプロフェッショナリズムを学ぶことができます。



済生会本部特別参与(医務担当)

清谷 哲朗

Kiyotani Tetsuro

Saiseikai!!



済生会
初期臨床研修
基幹病院は
全国 **38** 病院!

ここからスタートだ!!

初期研修の必修化から10年、済生会の修了生も一人前の医師として、各地で活躍しています。初期研修のプログラムはガイドライン化されていますが、研修場所によって研修医の成長度は異なります。症例が少なければ経験も少なくなるし、指導医がいなければ我流となります。屋根瓦の中の耳学問も貴重

な研修です。初期研修の2年間は医師としての第一歩、しかしその経験はその後の医師人生を左右するくらい重要です。学生の皆さんには、見学・実習を通して研修の現場を実感し、挑戦する気概を持って、初期研修の場に飛び込んできてほしいと思います。さあ、ここからスタートだ!!



研修医も交えた全職員入職式(川口総合病院)



辞令を交付(横浜市南部病院)



新入職者歓迎会(横浜市南部病院)

新参者ですが、
よろしくお願
いたします。



お昼に
星見えます?

目指せ!
ドクターのきら星★



青年よ、大志を抱け!(山形済生病院)

山形さ、来て
けらっしゃいっす



Message from
Senior*

済生会横浜市東部病院
小児科

高尾 知穂
Takao Chiho



社会人としても未熟で何もわからない状態でスタートした研修医でしたが、すべてのスタッフの方々に支えられ、楽しい2年間を過ごすことができました。研修医だからではなく、一人の医師として医療行為一つひとつに責任を感じながら行うことが、早く成長する術だと学びました。医療レベルだけでなく、人格としても尊敬できる先生にも出会うことができ、コメディカルの方との環境も含め、自信を持って後輩に勧められる研修生活でした。



水戸済生会総合病院ドクターヘリの基地で、同院と山形済生病院の研修医が交流

いざ、研修へ！ 失敗を恐れずに果敢に挑戦、です



腹部エコーの指導(宇都宮病院)



医療面接ワークショップ(中央病院)



中心静脈カテーテルの研修(横浜市東部病院)



膝の関節鏡下手術の臨床教育(奈良病院)



採血実習(中津病院)



細菌検査実習(中津病院)



機器の操作を指導する多賀紀一郎医師(新潟第二病院)



ミシガン大学家庭医療学科教授・神保真人医師による研修医ワークショップ参加者(宇都宮病院)

Message from Senior*

済生会熊本病院
臨床研修医

吉本春香
Yoshimoto Haruka



自分が将来どのような医師になりたいか、どのような働き方をしたいのかをしっかりと考えて病院選びを行ったほうがいいと思います。医師としての基礎を作るうえで初期研修の2年間はとても重要なものだと思います。まずは、気になっている病院の見学に実際行ってみてください。その病院の雰囲気、働いているスタッフの表情などを見て、このチームの仲間に入りたいと思える病院を見つけてください。

よき指導者、頼もしい同期に囲まれ、 充実した2年間の初期研修を



医療安全研修(中津病院)



腹部超音波エコー(滋賀県病院)



中心静脈カテーテル(滋賀県病院)



Dr. Steinのカンファレンス(滋賀県病院)



中心静脈カテーテルの穿刺(熊本病院)

Message from Senior*



東京都済生会中央病院
後期研修医

小野口 梨紗

Onoguchi Risa

2年間本当にいろいろなことがありました。楽しいことも辛いこともたくさんありました。いろいろな人に助けられてここまで頑張ってくれました。済生会での2年間は本当に濃密で毎日が勉強でした。どの先生方も本当に教育熱心で、こんな先生になりたいと思うような先生方が大勢いらっしゃるなら、ぜひ一度済生会に見学いらしてください。きっとこの病院の魅力が伝わるとと思います。

Message from Expert*

京都大学大学院医学研究科教授・
医学教育推進センター長

小西 靖彦

Konishi Yasuhiko



私は現在京都大学のセンターにいますが、済生会にいた時に指導医という立場で指導していました。済生会の外に出てみて改めて、臨床研修指導医を養成する済生会の指導医ワークショップの良さを感じています。多くの団体が済生会のようにワークショップを始めましたが、現在まで続いている団体はごくわずかです。36回という回数をやり続けていることが素晴らしいと感じています。

研修医が病院を選ぶ際には広くプライマリケアを実践しているところが重要な要素ですね。一方で、ほとんどの研修医は後期研修を受けて専門医の資格を取るのです。そこにつながるような研修をしている病院はやはり選ばれやすい。そういった意味では済生会にはさまざまな科を持った病院が多いので強みがあります。また、指導医がどうい先生か、ということも非常に大きな要素です。自分にあったよい指導医がいる病院に行くことが、研修医にとっても幸せなのではないでしょうか。病院としては、こういった指導医ワークショップを通していい指導医を育成しつづける必要があります。

地域医療と済生丸

地域に密着した中規模病院の特殊性を活かし、患者・家族とのふれあいのもと、医療・福祉・予防医学を学習します。また1次から2.5次救急まで地域の救急医療・急性期疾患から癌治療および終末期医療まで広い範囲の診療を経験することができます。

地域医療研修の一環として瀬戸内海巡回診療船

「済生丸」(日本唯一の診療船)に乗船し、瀬戸内海や宇和海島嶼部で離島診療を経験します。研修スケジュールは、研修医の希望のもとに作成し、研修途中でも容易に変更することが可能です。研修をしていない診療科でも珍しい症例や手技がある場合には診療科の枠を越えて経験することができます。



東京・中央病院、大阪・中津病院から大分・日田病院へ派遣。山間地の集会所で地域医療を学ぶ



宇和海(瀬戸内海)合同健診。松山病院・今治病院・西条病院から研修医の他、医師、看護師、検査技師、事務員が参加



島の人たちを診察



Message from Expert*



北土済生会病院 循環器科科長
臨床研修担当科長

佐藤 嘉洋

Sato Yoshihiro

濃密な研修が待っている

医師不足に悩む岩手県には、「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群」があります。一つの病院だけでなく、経営母体の違う12の病院が手を結び、県内全体で研修医を育成する制度で、当院も参加しています。イーハトーヴ臨床研修病院群では定期的に指導医が集まり研修医指導について議論をしているだけではなく、県内の研修医が一堂に会する「臨床研修医合同オリエンテーション」や「レジデントスキルアップセミナー」などを行っています。それらのイベントでは医師はもちろんのこと看護師や薬剤師、病院事務職員、県職員など多くの職種がそれぞれの施設から参加し指導や運営にあたります。県全体が一丸となって研修医一人ひとりを育成しているのです。

当院は急性期から回復期を担っていますが、すべての診療科があるわけではありません。しかし、だからこそ磨ける技術があります。例えば、当

院に無い診療科の患者さんが来たとします。放棄できませんから自分である程度病気の鑑別をし、それに合った紹介先を探し、紹介する際にはきちんとプレゼンテーションをしなければなりません。そのためには知識はもちろんのこと、自ら必要な情報を収集し分析し評価する能力が必要となり、さらに他院の医師に伝えるというスキルが必要となるのです。

この「他院の医師に伝える」ということが適度な緊張感となり、力になるのだと思うのです。そして、情報を集め、分析するという。患者さんの人生に寄り添い、患者さんの訴えのもとになったストーリーを思い描かなければ見落としてしまう情報があります。その見落としてしまいそうな情報を拾い集めることで、一人ひとりに合った治療が提供できるのだと思うのです。

今までの人生で得てきた自らの経験をすべて活かすことが医師としての仕事であり、こうした濃密な経験のできるメリットが当院にはあるのです。

Message from Participant*

宇和海合同健診 参加研修医コメント

- ・テレビでしか見たことがない済生丸に実際に乗ることができ、良い経験になりました。島の方々も温かい方がとても多く、私自身も元気をいただいた気がします。
- ・乳癌検診に2日間つきました。乳腺に関する診療を受けるのは1年に1回済生丸の時だけという人が多く、島民の方々にとって重要な機会であると感じました。
- ・巡回診療では多くの島民の方を診させてもらい、地域医療の大切さを改めて考えさせられました。また、済生会グループの方との交流も深まり、とてもいい経験になりました。
- ・診療船で検診を行うという、貴重な体験をすることができました。

マンツーマン指導で技術を身に付け、 救急医療で患者を知る



腰椎穿刺(千里病院)



チーフレジデントへサプライズ誕生会(千里病院)



指導医とスタッフ一同(千里病院)



もう少し目を大きく
開いてください

Message from
Senior*



福井県済生会病院
初期研修医
浅田 佳奈
Asada Kana

福井県済生会病院での研修医生活が始まって、早いもので1年が経ちました。その中で思う済生会の良さは、医局が研修医も含めて一同となっており、上級医や他科の先生方との接点が多く、診療科の垣根を越えた協体制が整っていることです。担当患者さんのことで悩んだ時には専門科の先生に気軽に相談でき、画像所見や治療方針についてもご指導いただけます。同様に院内スタッフも垣根なく、皆一体となったチーム医療を実感しています。仕事も人も素敵な出会いがきっとありますので、ぜひ見学に来て済生会の雰囲気を感じてみてください。



救命講習修了証取得(横浜市南部病院)



カンファレンス(新潟第二病院)



採血の指導。右から2人目が田中和豊医師(福岡総合病院)



研究室でのひとときの休憩(熊本病院)



研修医育成セミナーでの症例発表(今治病院)



定期船で島へ(みすみ病院)



湯島の公民館で開催の住民健康講座(みすみ病院)



ヘリ内での診療。左は福井大治郎医師、中央が研修医、右は大津裕子看護主任(水戸済生会総合病院)



出動するヘリを見送る研修医



基地病院到着後、患者を救命救急センターに搬送

初期研修医のための合同セミナー

本会臨床研修指定病院で研修する1年目の初期研修医全員を対象に、済生会学会・総会に合わせて年1回開催しています。

合同セミナーでは、本会の歴史や理念を学習するとともに、「済生会学会・総会」に出席し、本会の規

模を実感してもらいます。

講演、グループワークを通じて、自身のキャリア形成を考えることに重点を置き、他病院参加者との情報交換を行う場所でもあります。

これは済生会だからできる大きなイベントです。



グループワークでは、希望する診療科が同じ研修医と指導医がひとつの机を囲みます



初期臨床研修修了式

2年間の厳しい研修を終えて、晴れて研修修了証が授与されます。

さあ、これから後期研修。もう一度、心を引き締めて次のステップに飛び立とう！



臨床研修修了式(熊本病院)



研修医からスタッフへサプライズで花束贈呈(熊本病院)



研修修了証授与(千里病院)

Message from Senior*

藤井佑樹
Fuji Yuki

東京都済生会中央病院
後期研修医

思い返してみると、もっとこうできたと思うような反省も多々ありますが、素晴らしい同期、先輩、指導医の先生方に恵まれ、有意義な、あつという間の2年間でした。来年からは、この2年間で学ばせていただいたことを少しでも還元できるように頑張っていきたいです。済生会の初期研修は間違いないと思います。みなさんも一度、見学に来てください。

研修医たちが自ら作製!

研修病院をスライドで紹介

<p>済生会川口総合病院</p> <p>私たちの研修はこの12人で始まった</p> <p>川口総合病院</p>	<p>オープンな研修の雰囲気とチーム医療</p> <p>【チーム医療】</p> <p>栗橋病院</p>	<p>研修修了式</p> <p>中央病院</p>	<p>福井県済生会病院</p> <p>福井県済生会病院</p>
<p>First-touches on > 1000 cases</p> <p>> 100 lectures resident/in resident</p> <p>> 100 "discuss" per year</p> <p>静岡済生会総合病院</p>	<p>香〜餅がた〜</p> <p>中津病院</p>	<p>TONIYO</p> <p>富田林病院</p>	<p>マンツーマンの臨床研修</p> <p>山口総合病院</p>
<p>ドラマ化もされた診療船</p> <p>診療は研修医が主体となって行います!</p> <p>松山病院</p>	<p>院内メディカルラーニー開催</p> <p>二日市病院</p>	<p>多職種からの指導</p> <p>長崎病院</p>	<p>熊本病院</p>

Message from Expert*

東京都済生会中央病院 副院長・循環器科
医師臨床研修専門小委員会委員

中川 晋

Nakagawa Susumu



済生会の強みというより、市中病院の強みですが、大学病院と比べて、臨床における経験値が圧倒的に高いです。そのため、臨床の力を身に付けたいならば、市中病院がいいでしょう。ただ、市中病院の中にも見学が中心となる「受け身の研修」を行っている病院もあります。その点、済生会では、研修医自身で考え、自ら決断を求めるといった研修を展開しています。そういった医師の力の本質的な部分を養うことができます。

済生会では、年に一度の済生会学会・総会に合わせ、初期研修医のための合同セミナーを行っています。ここでは、全国の済生会病院の研修医、およそ200名が一堂に会します。このセミナーでは、講義をなるべく少なくし、参加者同士の対話や交流を重視しています。将来の希望科が同じ研修医を8人程度で一つのグループとし、なるべく同じ病院の人が一緒にならないようにしています。この交流を通して、ほかの病院の研修について知るだけでなく、済生会グループの規模や改めて自分の状況を見つめなおすいい機会となっています。これは、全国38病院で研修を展開している済生会にしかできないイベントであると自負しています。

ディズニーの教育システムを 屋根瓦教育に活かす

後期研修は、初期臨床研修修了者がさらに専門分野の高度な知識と技術を習得することを目的とします。済生会では、後期研修の一環として、ディズニーアカデミーのインストラクターによる「トレーニング ディズニーウェイ」のインタラクティブな講演、および「パー

ク体験」で現場のインストラクター活動を経験してもらいます。1日目にOJTで学び、2日目にグループワークやロールプレイ実習を行います。これはディズニーのホスピタリティーや教育システムを済生会の屋根瓦教育に活かすためのワークショップです。



ウォークスルー



ウォークスルー



「パーク体験」で
インストラクター
の講義を受ける



レクチャー



レクチャー



レクチャーを終えて参加者全員で

Message from
Expert*

東京都済生会中央病院
糖尿病・内分泌内科

渥美 義大

Atsumi Yoshihiro

現在は後期研修4年目で、内科と救急を2年間ローテートして、後半2年は糖尿病とチーフレジデントをしています。

ディズニー研修は、1日目はレクチャー、2日目はグループワークを行います。済生会の屋根瓦教育(上の者が下の者を教える)に匹敵するティーチングスキル(コーチングスキル)を、ディズニーのマインドに則って教えられます。これは非常に具体的な方法で、わ

かりやすく、教える側・教えられる側の両方にメリットがあります。日本では通常、指導医が研修医を教育しますが、このシステムは上の研修医が下の研修医を教えるという、正に屋根瓦教育が行われることになるのです。当然、医者の世界にも使える教え方を学べます。ぜひとも参加してもらいたいと思います。

済生会病院の研修は、屋根瓦教育が徹底している、内科から外科すべてを経験することができるグランドローテーションがある、困った時にすぐ相談できるメンバーが身近にいる、各地域に済生会病院がある、病院間の人との交流がある、等他の病院にはない多くの利点があります。

Teaching is Learning. 教えることが学びになる

1日目の学びを活かして、医療現場を想定したロールプレイ実習を行います。業務の基本手順を確実にするための「ポイント」と「意味」をグループディス

カッションを行うことで洗い出し、『教え方のコツ』を学びます。このグループワークを通して後輩指導のスキルを学ぶことができます。



人材育成のグループワーク



人材育成のグループワーク



中心静脈カテーテルの指導法の研修



中心静脈カテーテルの指導法の研修



懇親会



懇親会

仲間との交流で
より充実した研修に！



屋根瓦研修修了証取得



Message from Expert★

済生会横浜市東部病院
救急科

風巻 拓

Kazamaki Taku

初期研修医のときから外傷外科に進みたいという思いが強くあり、後期研修は救急と外科の連携が強い横浜市東部病院を選びました。最初の2年間は救急科で、その後2年間外科で研修を行いました。

外傷外科の現場は、チームワークが命です。初期研修医、後期研修医、上級医で1つのチームを作り、上の者が下の者を指導することが繰り返し行われます。済生会の伝統である屋根瓦方式の教育が自然と行われていると感じます。

- ◆ ディズニー研修は後期研修2年目に参加しました。仕事に対する目標を明確にさせること、フィードバックの方法を工夫することなどの大切さを教えてくれました。これらは済生会での屋根瓦方式教育にも応用できることだと思います。

ハワイ研修は後期研修1年目で参加し、日本では学ぶことの難しいシミュレーション教育の実際を経験することができました。立派な設備があっても、それを活用する人がいなければ、宝の持ち腐れになってしまいます。シミュレーションを実際の教育に活かそうというマインドの大切さを教えられました。その後さらに、シミュレーションのシナリオの作り方や、効果的な評価法などについても学ぶ機会をいただき、後輩教育やスキルトレーニング室での業務に役立させています。

救急医として、命を助けることはもちろん、その人の背景をも見て、最適な医療をすることを目指し、日々研修医の指導に当たっています。



初期研修医への指導

ハワイ研修でアメリカの医療を学ぶ

ハワイ研修のプログラムは5日間行われます。ハワイ大学の教授やレジデントによる講義や医療シミュレーションセンターでの実習を通して、日本とアメリカの医学教育の違いを学び、知識や技術の向上

を図ります。また、同年代の参加者のほか、ハワイ大学の教授や講師との交流を深め、参加者自身の医師の在り方の再確認と国際的な感覚や視野を身に付けてもらいます。



ハワイ研修参加者(モアナレア・ガーデンパーク)



ハワイの病院見学



ハワイ大学 SimTiki (シミュレーションセンター)



Shriners Hospital for Childrenを見学



腹腔鏡手術のトレーニング



SimTiki



ハワイ大学医学部前で

今日から僕らも国際人の仲間入り



Pediatric Emergency のレクチャー

Message from Expert*

ハワイ大学医学部外科・国際医療医学オフィス

町 淳二

Machi Junji

ハワイにおける研修は、5日間のプログラムで行っています。

1日目には、現地でレジデントや研究をやっている先生にレジデントの生活や学んでいること、臨床の状況や事例について話してもらったり、ケースカンファレンスをやってもらいます。2日目は、現地の病院を見学し、3~5日目はシミュレーション教育に参加してもらいます。シミュレーションのプログラムは現地の臨床医が造ったものなので、研修医が満足できるものになっています。

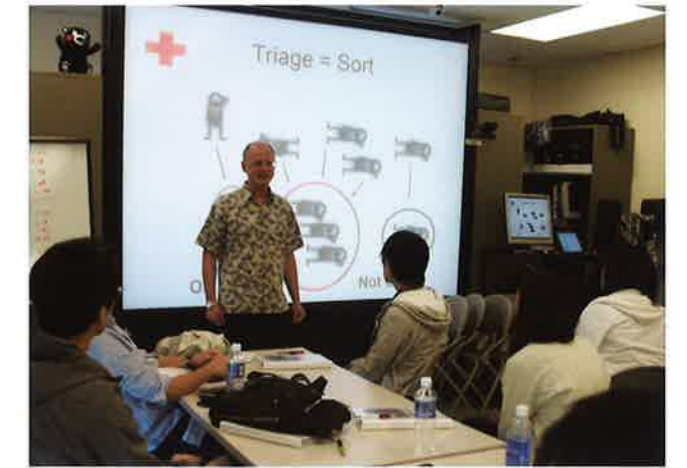
ハワイの研修を受ける済生会の皆さんには、国際的な感覚や視野を身に付けてほしいです。

日本国内で研修を受けた場合は、それぞれの病院で違いがあるといっても、あまり大きくは変わりません。一方ハワイと日本では、そもそも国が違うので、研修の仕組みが根本から違います。それだけ大きな違いがあると、日本の良いところ、悪いところの両方が見えてくる。そういう経験を積むことが、将来多角的な国際的な物事の見方をするとき役に立つと考えます。

研修システムに関してアメリカの利点の一例は、アメリカではまったく意識せずに「屋根瓦」を実践しています。教えることが学ぶこととなります。日本ではレジデントが講義をすることはあまりないかと思いますが、アメリカでは日常に行われています。「覚えた知識は教えないと整理されない」ということが自然と身に付いています。研修医の役割として下を教えることも必須になっており、教えるために勉強して、教えることで自らさらに学ぶというサイクルができています。このような教育システムも日本に広めてほしいです。



オリエンテーション



Triage のレクチャー



Farewell Dinner



SimTiki 修了証



確実にやるのはどこでもできる。
確実に速くやるからこそ「価値」になる。



「医師」をつくる 指導医を育てる

臨床研修指導医を養成する

全国済生会臨床研修指導医ワークショップが厚生労働省の指導医講習会開催指針に則って、2006(平成18)年2月に開催されました。以来、2016(平成28)年6月現在で36回となり、これまでの修了者は1,084人に達しています。本会7年目以上の医師の37%がこのワークショップを修了しています。

目標、方略、評価からなる「カリキュラムプランニング」

がワークショップのメインですが、コーチングやフィードバック技法、ストレスとその対処、リーダーシップとモチベーション強化についても学び、見識を深めています。

指導医講習会修了者が、臨床現場で医師が抱えるさまざまな課題、知るべき医療現状を知り、全国の済生会職員とのグループワークを通して意見交換する「アドバンスコース」も実施しています。



活発に議論をかわすグループ討議



グループワークの討議のまとめをパネルを使って発表する



Message from Expert*

福井県済生会病院 内科医長
金原 秀雄

Kanehara Hideo

私がタスクフォースになって、約6年が経ちます。タスクフォースには何十年も第一線で活躍していて、ほぼ毎回参加されてい

る先生もいて、回を増すごとに内容がブラッシュアップされています。「済生会」というブランドのもとに共通意識を持った人材が集まることで、タスクフォース同士のつながりのみならず、参加者同士、全国済生会グループの先生同士のつながりが強まり、互いの状況を理解することにつながっていきます。

埼玉県済生会川口総合病院 循環器内科部長
医師臨床研修専門小委員会委員

船崎 俊一

Funazaki Toshikazu

私は第1回目の全国済生会臨床研修指導医ワークショップが行われた時からタスクフォースとして携わっていますが、毎回ワークショップが始まる前と後では参加者の表情が違うことに驚きます。タスクフォースは各病院の副院長・部長クラスの人が担っていますが、指導医ワークショップでは違った顔を見ることが出来ます。上の人が院内とは違った表情を見せてくれることで、参加者も安心するのではないのでしょうか。済生会の指導医ワークショップでは、全員が同じ「済生会」というブランドに属しているので、「なんでも話してもいい」という安心感が生まれます。

済生会では人とお金がうまくまわっていると思います。特に人の部分は大きく、参加者やタスクフォースだけではなく、運営をサポートする事務スタッフの力が心強いです。本部の協力体制の中、タスクフォースの先生も協力し、手作りのワークショップになっています。ひとつの病院だけで開催するワークショップですと職場の人間関係を引きずることが多く、

自由な発言の場としてのワークショップの目的が薄れることがあります。

大学のワークショップでは、各大学の医学教育の専門家がタスクフォースや講師を務めるので、高いレベルの研修内容が提供されます。その一方、主催者と参加する臨床現場の医師や研究者との距離が埋まらずワークショップが終わることもあります。日本医師会でも同様のワークショップを行っています。参加者の基盤、つまり所属する医療機関が多彩であり、開業の先生の参加も多く、参加目的やニーズの統一が難しいと思われる。したがって、どうしても座学が多くなっています。確かに指導医ワークショップでは「資格をとること」は大切な目的です。必要な講習を修了し知識を習得し、資格を得て散会し終わりです。しかし、済生会のワークショップでは、交流を図り、「つながりをつくること」を大きな目的としているので、座学だけではなく、参加型、討論型の時間が多くなっています。実際に臨床で患者さんを見て、研修医に指導している医師がタスクフォースや講師を務めるということが特徴です。

医師として働く中でつらいことや大変なことも多いですが、それをいかに楽しみや喜びに変えていけるかということが大切だと思います。しかし、自分一人で

解決しようとしても、なかなかうまくはいきません。そんな時に、このワークショップを通して、困った時に頼ることができる先生を見つけることもできます。例えば、循環器なら船崎先生に聞いてみようとか、脳卒中なら高木先生にというように。
熊本地震の時には、全国の済生会の協力で大量の物資が集まりました。その物資を近隣の病院に分けたところ、「済生会のつながりが羨ましい」という声が多く聞かれました。指導医ワークショップを含めた交流が済生会のつながりを強固にし、まわりを喜ばせた一例です。

Message from Expert*



船崎 俊一

第36回全国済生会 臨床研修指導医のためのワークショップ

2016(平成28)年6月4~5日、大阪のクロス・ウェーブ梅田で開催されました。今回の担当は済生会千里病院で、全国の済生会病院から30人の医師が参加しました。テーマは「済生会にお

ける臨床研修の継続的発展と研修指導者の役割」でした。

ワークショップ修了者には、済生会理事長と厚労省医政局長の公印が入った修了証書が発行されます。



各グループの発表を聞く参加者



初期では
難しすぎないかなあ



Message from
Expert*

済生会松阪総合病院 外科部長

近藤 昭信

Kondo Akinobu

医師の仕事は、患者さんを治すだけではありません。後輩を育てることも、大事な仕事です。そのため、後輩が受け入れやすいように、効率良く指導することも医師に必要なスキルだと思います。そういったスキルを身に付けるためにも指導医ワークショップは役立ちます。



情報交換会でグループごとに記念撮影



情報交換会



情報交換会

「第36回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ」担当病院として

今回のワークショップは我々千里病院が担当病院を務めました。初めての主催でしたが、過去に担当病院を務めた先輩方のアドバイスを参考に16時間できっちり終わることができてなによりでした。

済生会の指導医ワークショップは事務の力が素晴らしいです。フットワークが軽く動いてくれるため、医師は会場準備などの余計なことに気を取られずに、指導や技術の習得に専念できます。

タスクフォースの先生方が深夜まで打ち合わせを行ったこともあり、充実したワークショップが開催できました。

夕食に関しては大阪という土地柄を活かしたものを準備したことも好評で、参加者の方々は楽しい雰囲気の中積極的に情報交換をしていました。

大阪府済生会
千里病院 副院長
鈴木 都男
Suzuki Kunio

大阪府済生会
千里病院 院長

木内 利明
Kiuchi Toshiaki

大阪府済生会
千里病院 副院長

寺田 浩明
Terada Hiroaki



Message from
*Expert



タスクフォースのメンバーに感謝状が贈られる



情報交換会



情報交換会

Message from
Expert★



岡山済生会総合病院 院長代理
医師臨床研修専門小委員会委員

塩出 純二

Shiode Junji

1回目の指導医ワークショップから参加して、20回以上になります。最初はゼロからの手作りで、なにをどうすればよいのかわからなかったんですが、ブラッシュアップされて、内容がよく練られてきています。済生会

の指導医ワークショップの一番の良さは、事務スタッフによるサポート体制です。大学や医師会のワークショップに比べると、PCや会場などのハード面の準備や、進行がスムーズに行われている点の違いです。そしてタスクフォース(世話人)や講師陣が充実していると感じています。

福井県済生会病院 顧問

加藤 英治

Kato Eiji



医者という職業は、「教える」ことも仕事の一つです。ほとんどすべての医者は指導医になります。しかし、人を教える方法を学ぶ機会はそのなにも多くはありません。毎年、熱意のある参加者が集まり、実りのある素晴らしいワークショップになっています。

Message from
★Expert



ワークショップ参加者全員で記念撮影

聖マリアンナ医科大学
医学教育文化部門 医学教育研究

伊野 美幸

Ino Miyuki

私は聖マリアンナ医科大学の医学教育部門に所属しています。

済生会の指導医ワークショップはとても丁寧に作り込まれたプログラムであり、質が高いと思います。全国の済生会病院には、このワーク

ショップを修了した指導医がいるため、研修医受け入れ病院では同じレベルの指導を受けることができます。また、指導医ワークショップには若い人の参加も多く、勉強熱心な人が多いと感じています。

済生会病院は、教育熱心な風土があるので、研修先として選んだ場合でも安心して研修を受けることができます。済生会の研修は「済生の心」という軸が一本通っているので、そういう環境で若い頃から学ぶことができるのはとてもいいと思います。

Message from
★Expert



済生会の臨床研修の取り組み

わが国の医師の養成は1968(昭和43)年、それまでの実地修練制度(インターン)に代わる臨床研修制度が創設されました(年表①)。当時は努力規定でしたが、中央病院では1971(昭和46)年に厚生省の認定を受け医師臨床研修を開始し、1999(平成11)年には総合診療方式(スーパーローテート)を導入しています。その後、2004(平成16)年、2年間の卒後研修を義務化した現在の制度がスタートし(年表②)、済生会では当院も含め現在38の病院が基幹型臨床研修病院となり、毎年約200名の初期研修医がプログラムを修了しています。

済生会では2005(平成17)年に31病院で「臨床研修指定病院協議会」を立ち上げて(年表③)、2006(平成18)年には「第1回臨床研修指導医のためのワークショップ(WS)」を開催しました(年表④)。このWSは厚生労働省の認定を受けており、修了者は全国のどの臨床研修病院でも指導する資格を取得することができます。2016(平成28)年6月までに合計36回開催し、1,000人以上が臨床研修指導医として済生会をはじめ多くの病院で活躍しています。済生会病院で実際に診療に従事している医師が世話人(タスクフォース)として企画・運営していることが特長で、WSを立ち上げた世話人の中からは、日本全体の医学教育を支える人材となって、現在活躍されている医師も輩出しています。

臨床研修指定病院協議会は、2014(平成26)年、法人全体として医学教育システムを運営するため、「医師臨床研修専門小委員会」に衣替えし(年表⑤)、これまでの研修をさらに強化・発展させながら運営しています。今後は新専門医制度への対応や本会での臨床研修をより良いものにするための改革を続けていく所存です。



東京都済生会中央病院 病院長
医師臨床研修専門小委員会 小委員長

高木 誠

Takagi Makoto

医師臨床研修制度のあゆみ

1948(昭和23)年	連合軍GHQ主導によるインターン制度の導入
1968(昭和43)年	医師臨床研修制度創設(「努力規定」としての研修) (①)
1994(平成6)年 12月	医師関係者審議会の提言「必修化、内容改善」
2000(平成12)年 11月	医師法(臨床研修の必修化)、医療法改正
2002(平成14)年 12月	臨床研修に関する省令の施行
2004(平成16)年 4月	新制度への施行 (②)
2005(平成17)年 5月	
6月	医師の臨床研修における修了等の基準に関する提言(→10月に医政局長通知)
2006(平成18)年 2月	
2007(平成19)年 12月	医道審議会医師臨床研修部会の報告書(平成18年12月から1年間、改善方策について議論)
2008(平成20)年 2月	
4月	臨床研修に関する省令の改正、施行(主に、指導医の要件として、指導医講習会の修了が必修化)
10月	
2009(平成21)年 4月	臨床研修に関する省令の改正、施行(主に、臨床研修病院の構成の変更、プログラムの弾力化、都道府県単位での募集定員の上限が設定された)
9月	↓
2010(平成22)年 9月	(5年以内に検討を行う)
2012(平成24)年 2月	
11月	
2014(平成26)年 5月	

済生会医師臨床研修事業の経緯

- 第1回臨床研修指定病院協議会開催(参加病院数：31病院) (③)
 - ・本会基幹型臨床研修病院の院長を中心に構成。協議会の下に6つのプロジェクトチームを設置
- 臨床研修指導医のためのワークショップ(主催：川口総合病院) (④)
- 臨床研修指導医海外研修
- 初期研修医合同セミナー(主催：岡山済生会総合病院)
- 後期研修医のための海外研修[ハワイ1週間コース]
- 協議会組織の一部見直し、医師教育研修協議会に改称
 - ・従来の6つのプロジェクトチームを3つの部会に再編・統合
 - ・現場の指導層の意見を協議会に反映させ、事業の具体的な企画立案を担当するSET(済生会医学教育チーム)を設置
- 屋根瓦研修推進のためのワークショップ(主催：中央病院)
- 指導医ワークショップアドバンスコース(主催：岡山済生会総合病院)
- 第1回医師臨床研修専門小委員会開催 (⑤)
 - ・人材確保対策委員会の下に、医師臨床研修を推進するための諸課題の検討を行うための専門小委員会を設置
 - ・総合診療医の養成、専門医制度の見直し等、新たな課題にも対応



明治天皇



秋篠宮殿下

年表

明治	▶ 44年2月11日	明治天皇「済生勅語」を発し、お手元金150万円(現在の16億円に相当)ご下賜
	▶ 44年5月30日	済生会の設立許可(創立記念日)
	▶ 44年8月21日	初代総裁に伏見宮貞愛親王殿下
	▶ 44年9月9日	医務主管に北里柴三郎
大正	▶ 1年10月24日	紋章として「なでしこ」を制定
	▶ 2年9月1日	済生会第1号の神奈川県病院開設
	▶ 12年4月2日	第2代総裁に閑院宮載仁親王殿下
	▶ 12年9月1日	関東大震災。臨時に巡回看護班を編成
昭和	▶ 20年8月21日	第3代総裁に高松宮宣仁親王殿下
	▶ 26年8月22日	医療法による公的医療機関に指定
	▶ 27年5月22日	社会福祉法人として認可
	▶ 37年10月7日	瀬戸内海巡回診療船「済生丸」進水
	▶ 62年4月21日	第4代総裁に高松宮宣仁親王妃喜久子殿下
平成	▶ 6年9月7日	第12代会長に豊田章一郎
	▶ 12年4月3日	第5代総裁に三笠宮家の寛仁親王殿下
	▶ 22年12月10日	本会の10年間の事業目標であるマスタープラン「第四次基本問題委員会報告」
	▶ 23年5月30日	創立100周年記念式典 天皇皇后両陛下ご臨席
	▶ 25年4月1日	第6代総裁に秋篠宮殿下

済生会は、患者さんの所得額によって医療費が無料になったり減額されたりする「無料又は低額診療事業」を実施しています。各病院の担当窓口にご相談ください。

シリーズ 済生会の力 第7集

済生会で医師になる!!
臨床研修システム

平成28年10月1日 第1版第1刷発行
 発行 社会福祉法人 済生会
 理事長 炭谷 茂
 編集 広報室
 〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21階
 TEL: 03-3454-3311(代) URL: http://www.saiseikai.or.jp

恩賜財団済生会は明治天皇の「済生勅語」に基づき明治44年設立されました。社会に増大した困窮者に無償で医療を行い、それによって生を済おうというのです。各地に診療所を設け、貧困所帯に無料の特別診療券を配布して受診をうながしたほか、巡回診療班を編成して困窮者の多い地区を回り、診療・保健指導を行いました。

第二次大戦後、済生会は財団法人から社会福祉法人に改組して再スタートを切りました。天皇の志を忘れないため恩賜財団の名を残し、「社会福祉法人 済生会」を正式名称としています。

現在、第6代総裁に秋篠宮殿下を推戴し、会長は豊田章一郎、理事長は炭谷茂が務めています。公的医療機関として指定され、全国40都道府県で99の病院・診療所をはじめ福祉施設等を含め379施設を運営。約5万9000人の職員が働く日本最大の社会福祉法人となっています。平成27年度は、延べ2538万人が本会を利用されました。

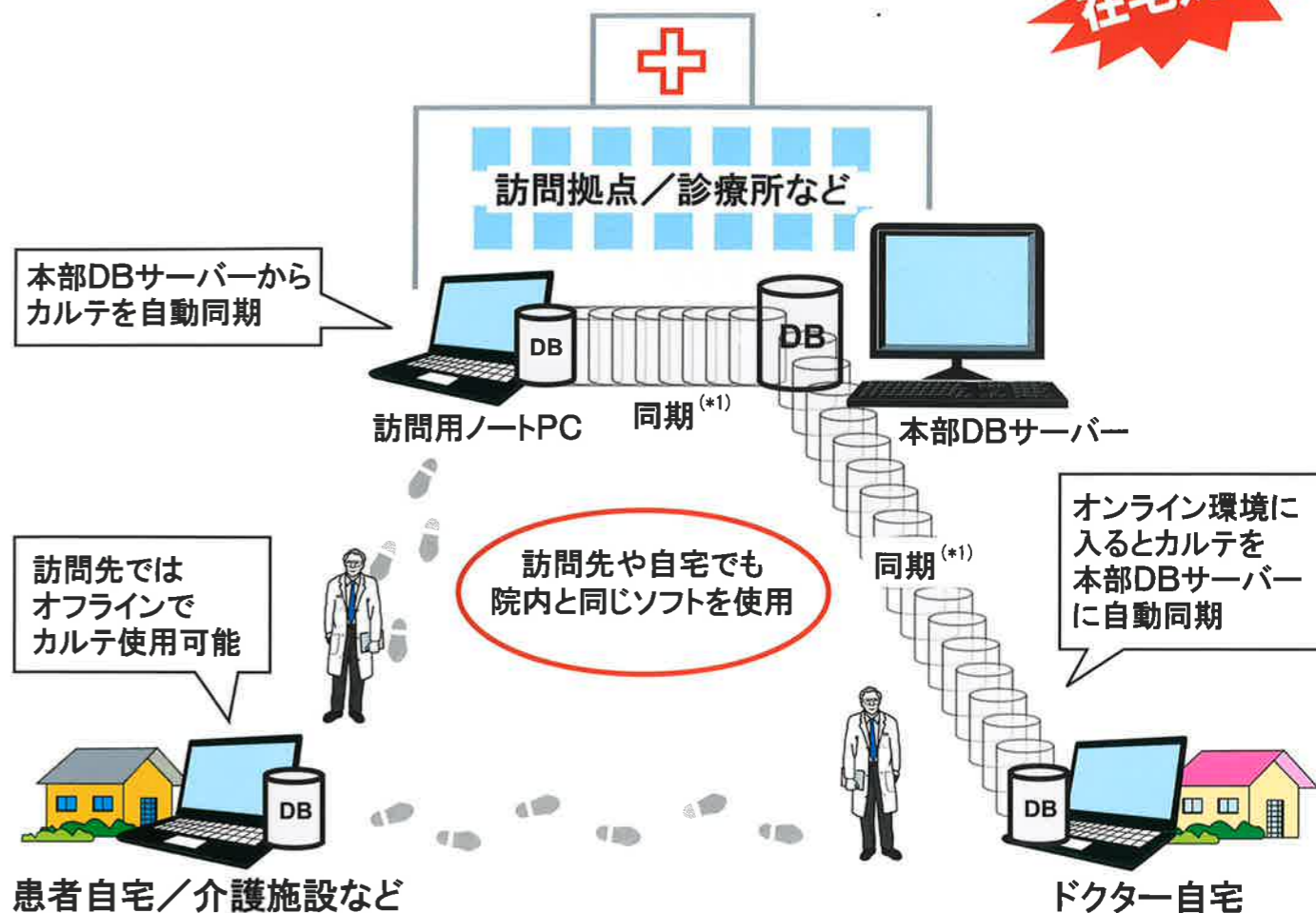
地域の方々の目線に立って、皆さまに最適な医療・保健・福祉を総合的に提供することが、われわれの最大の使命だと考えています。

地域の医療・保健・福祉を担う 済生会は日本最大の社会福祉法人

50万円^{(*)3} から導入できる レセコン一体型電子カルテ

ドクターソフト[®]

在宅対応



患者自宅/介護施設など

ドクター自宅

訪問診療/訪問介護をオフラインで

訪問診療/訪問介護用のノートPCを院内LAN環境に置いておくと、最新カルテ情報が自動的に病院DBからノートPCに同期^{(*)1}されます。そのままノートPCを持ち出して訪問診療。訪問先でも院内と同じカルテプログラムを使い、インターネット不要なので、電波が弱い場所でも院内同様の速度/快適性でカルテ操作できます。ノートPC中のカルテは、拠点や自宅のLAN環境に入ると自動的に病院DBに同期^{(*)1}されます。往診中の患者のカルテに病院で書き込んでいても情報を失いません。訪問前後に特別な作業も不要です。拠点間はオンライン接続もできます。カルテのテンプレートは自由にカスタマイズでき、医療、介護それぞれに適した画面を使えます。訪問/外来/入院、医療/介護、を全部含めて一患者一カルテで一元管理できます。買い換えることなく同一ソフトで必要に応じて徐々に利用台数を増加できます。すべての請求^{(*)2}をカバーする一体型レセコンを備えた本格電子カルテが50万円程度^{(*)3}から導入でき、導入後は月々一定の使用料と保守サポート料のみ。法改正やバージョンアップは無料です。

(*)1「同期」とは、2台のPCの片方に書き込んだデータが少し遅れて他方のPCに反映する仕組みです。2台のPCが常時通信で結ばれていないときに、入力されたデータがいったん蓄積して、通信ができるときにまとめて他方に送ります。(*)2国/公 害/全国地域公費、社/国保、後期高齢、自費、労災、自賠責、介護(様式2,5,7,10,11)、障害者福祉(様式2)、健診、入院を含む。(*)3ハードウェアは含まず、初期ソフト料金と導入時サポート料の最小構成3ライセンス(同時利用3PC)の料金。ライセンス数とサポートのレベルにより料金は変動。

<http://yuiconsulting.com> から試用版を無料でインストールできます。



drs@yuiconsulting.com
 株式会社油井コンサルティング
 ●デモビデオDVDを無料送付。EMAILでお問い合わせ下さい。

03-3227-7060、050-5830-8684
 1610033 新宿区下落合1-5-22 アリミノビル5F
 ●広告内に記載されている商品名は、各社の商標又は、登録商標です。

OEM供給しています。DRSをベースに貴社独自の電子カルテを短時間で簡単に開発できます。デモ/セミナーの詳細はホームページにて。